

「人災確保と生命・損害保険」

この所株式・為替の動きは不安定ですが、景況感はプラスに転じつつあり、今後経営資源の中で最も重視される人材確保に競争が集中する事態が想定されます。特にこのような離職率の高い状況では、人材を確保するだけでは企業に人は残りませんので、①人材教育・②心のケア・③福利厚生等の待遇改善が求められます。政権サイドも今後予定されている大規模な増税を少しでも緩和するため、企業側に人件費アップを求めており、企業側としても何らかの対応が必要です。①・②についてはそれぞれの企業独自にお考えいただく必要がありますし、企業の規模等によってもその対応にはかなりの開きがあるでしょう。ただ、この部分が最も大切であることは間違いありません。③については比較的着手しやすく、人材を大切にしているということアピールできるのでわかりやすいとも言えます。今評価される企業の条件は社員とその家族を大切にする企業とのことです。社員を大切に思い、万が一の事態に備えることが、社員に活力を生み、お客様サービスの向上等につながっていくのではないのでしょうか。その一翼を生命保険・損害保険に担わせてはいかがでしょうか。事業計画等の中で具体的に盛り込み、定着化させた上で、社員を元気にする方法をお考えください。お気軽にご相談ください。

F P委員会 田原 智延